

西暦 2022年度
工業会日本万引防止システム協会 令和 4年度通常総会開催概要
・・・つながる心で ESG*DX 時代のロス・プリベンション推進！・・・
<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20220506.pdf>

会長挨拶

【第 1 部】

皆様こんにちは 稲本です。ネットの皆様聞こえますか。(聞こえます) 了解です。

本日は、工業会 日本万引防止システム協会 令和 4 年度通常総会・記念講演会に会場参加、オンラインで参加いただきありがとうございます。

さて、令和 3 年の万引犯罪の状況ですが、全刑法犯に占める万引きの認知件数が昨年の 14.2%から 15.2%に悪化し、検挙件数も前年より 884 人も増加しました。刑法犯認知件数が年々下がっているなか、これは異常値です。当工業会がその社会的使命を全うできていない。役割を果していないのだと強く反省しているところです。さらにウクライナ情勢の如何では、食料やエネルギー不足、物価上昇が続くと思います。インバウンドの再開も難しいなか、先行きの社会的・経済的不安感が万引を助長していく可能性があると感じております。

それらの状況を踏まえ、昨年は一とつ目として、進化する顔認証システムを活用した第 1 回科学保安講習会を開催しました。科学保安講習会では、当工業会が認定した顔認証システム<マスク対応プラス>4 機種の実践的活用方法に加え、個人情報保護法遵守の内容が織り込まれました。4 月からの改正個人情報保護法施行に向け、防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め 2021 年度版、顔画像を利用した来店客検知システム 2021 年度版を準備しました。本年はそれらの活動をさらに着実にしようと次の準備をしているところです。

二つめとして、万引防止システムの市場調査を 2 月から 5 月に実施しました。AI カメラの会員が多数会員に加わったことを鑑み、今回初めて AI カメラの市場規模と個人情報等の安全措置の調査内容を加えました。調査では会員以外の AI カメラを扱っている企業にも協力を要請し、

結果的に前回より社 15 社多い 39 社の回答が得られました。

本日は、摺田政策研究委員長からその報告がありますが、少し申し上げると、EAS 機器の出荷台数は伸び悩んでいるものの販売金額では、昨年が過去 5 年間で最高額となっております。顔認証の販売額は 6 億、8 億、9 億 7 千万と伸び、まもなく 10 億円を突破しそうな勢いですし、AI カメラに至っては倍増に近い伸び率です。会員各位が、まあ、まずはできることから、やりましょう、ではなく、苦しくてもやるべきことを本気でやり遂げてきた成果であると嬉しく思います。

三つ目として、当工業会は設立以来、各種法令順守、機器の安全運用に尽力して参りましたが、昨年は 5 月には東京丸の内法律事務所 村田和希弁護士「情報システム・モデル取引・契約書第二版」セミナー、9 月には東京都立大学 多氣昌生名誉教授「EAS 装置からの磁界の人体暴露と安全性」セミナー、10 月には JIPDEC 常務理事 坂下哲也氏の「画像等個人情報越境問題とデータ利活用を積極的に開催しました。今年には 7 月の第 7 回 JEAS 講習会、7 月のリテールテック大阪 2022 への出展とセミナー開催、10 月には危機管理産業展 2022 でのセミナーを行います。

その他として、無人店舗・セルフレジ・業務効率化などの DX 推進事例の調査をする DX 推進プロジェクトを立ち上げ、POS メーカー各社とのセルフレジやレジカートの不正防止の情報交換を進めております。

それらの情報を適時は配信するためのユーザー様向けの公式ロス対策メルマガ配信を開始し、お蔭様で読者登録数が着実に増えております。

結びになりますが、当工業会の使命は、万引犯罪撲滅を目指すソリューション団体として、誰もが等しく安全・安心を享受できる防犯民主主義の実現にむけ、「店舗のロス・プリベンション」を軸に、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止・大量窃盗団の阻止・高齢万引の未然防止・内部不正対策・ロス対策という産業的・社会的役割を果たすことです。

引き続き、この使命・そしてこの活動を次の時代へと紡いで参ります。

結びに、皆様のますますの長寿とご繁栄を祈念し、挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

.....

【意見交換会時】

稲本です。皆様、本日はご多忙のなか、JEAS 意見交換会にお越しいただき有難うございます。お蔭様で総会は議案をすべて可決し、第 2 部も多くの学びの場となりました。有難うございます。

国防・経済・食料などの安全保障上の問題に対し、我々ができることは限られております。しかし、そのような混迷な時ほど、職業専門家として、日々、研鑽に励み提案力を養い、チャンスを呼び寄せたいと思っております。

当工業会は、従来の万引対策・商品ロスから、作業改善&機会ロスを含むロスやリスク全般をロス・プリベンションのソリューション団体へ駆け登ろうとしています。そのために必要な考え方のキーワードが二つあります。

一つ目が、改善のプロセスを調査し、説明できるようになること。つまり、職業専門家としての現場対応の技能を徹底的に磨き上げること。二つ目が、ユーザー様や皆さんの上司が明らかに間違っている判断をされようとしたときでも、それに気づいてもらうための説明を日頃からシュミレーションしておくことです。つまり職業専門家としての心理的な技量を、覚悟をもって高めていくことです。

この交流会は多くの分野の職業専門家の方がいらっしゃいます。失敗やユーモアの中にも値千金の話が隠されていると思います。それに気づくかどうかは、我々の技能と技量しだいです。

固い話になりましたが、ここは子供時代からの友人宅だと思って、本音でお話ください。皆様ここで聞かれたお話は内緒でお願いします。それも技能と技量です。シー！

以上です。

.....